

アル三情報

第359号

春号

2010



技術デザインプロジェクト企業見学会 (富山ライトレール)

CONTENTS

地域企業立地促進等補助事業	2
《特別寄稿》	
アルミニウム合金の超精密切削加工技術	6
男女共同参画に向けて 第2回	8
《2月例会》	
最近の金融経済動向	10
NEWS	13
常任委員会の動き 55	14
私のひととき(第53回)	15

目 的

社団法人高岡アルミニウム懇話会は、平成19年、20年度に引き続き、中部経済産業局の採択を受けて地域企業立地促進等補助事業（人材養成支援事業）に取り組んできました。20年度では、企業ニーズに立脚した製品提案など企業参加型の研修やワークショップ型の研修を実施し、新製品として検討できるレベルのアイデアが提案されるなど工業製品の開発企画力の育成に効果がありました。21年度では工業分野における融合製品の高度化と提案型発信力の育成を目的に、高岡ならではの高度な技術デザイン力を基に、地域資源を融合的に活用した商品を実現するための開発力、商品化と直結する企画力を育むことで、経営力ある人材の育成に取り組みました。

事業実施内容（平成21年度分）

①検討委員会・研究会の活動

■第1回検討委員会

平成21年6月15日（月）16:00～17:30（高岡商工ビル503）参加者12名
平成21年度の地域企業立地促進等補助事業申請書について説明し、技術デザインプロジェクトの運営について決めました。



■第2回検討委員会

平成22年2月8日（月）18:00～19:00（高岡商工ビル505）参加者11名
技術デザインプロジェクト活動報告書案が了承されました。

■第1回研究会

平成21年6月29日（月）15:30～16:30（高岡商工ビル505）参加者9名
技術デザインプロジェクトの募集要領、全体計画を決めました。

■第2回研究会

平成21年8月24日（月）17:00～17:40（富山大学芸術文化学部大会議室）参加者11名
プレゼンテーション、製品説明についての先進的企業の見学会の実施計画を決めました。

■第3回研究会

平成21年11月12日（木）16:00～16:40（富山大学芸術文化学部小会議室）参加者8名
第9回技術デザインプロジェクト発表会の運営について決めました。

②技術デザインプロジェクトの活動

参加企業: (株)アイクス、アイアンオー(株)、(有)サイバースクエア、三協立山アルミ(株)、三芝硝材(株)、(有)翔南産業
(株)松美堂、相互企画印刷(株)、(株)タカギセイコー、(株)竹中製作所、富山スガキ(株)、(株)ナガエ、(株)広上製作所

参加学生: 金沢工業大学生 1 名 富山大学生 13 名

ワークショップアドバイザー: 富山大学芸術文化学部講師・助教 3 名

第1回 平成21年7月13日(月) 18:10~20:10

富山大学芸術文化学部 研究棟 映像利用室 参加者 45 名

- ・セミナー「資生堂のデザインと美意識」
講師: 信藤洋二氏 (株)資生堂)
- ・今後のWSの取り組みについて
- ・チーム編成と役割分担
- ・ワークショップ
課題説明



第2回 平成21年8月3日(月) 16:10~18:30

富山大学芸術文化学部 管理棟 大会議室 参加者 39 名

- ・プレゼンテーション
三協立山アルミ(株)、(株)竹中製作所、(株)ナガエ、三芝硝材(株)
- ・セミナー「エクステリア商品とランドスケープデザイン」
講師: 岩田浩史氏 (有)イクス代表取締役)
- ・ワークショップ
現状プロモーションについてのプレゼン



第3回 平成21年8月24日(月) 18:10~20:10

富山大学芸術文化学部 管理棟 大会議室 参加者 44 名

- ・セミナー
「ユーザビリティの高い商品を実現するためのデザイン開発アプローチ」
講師: 渡辺悦啓氏 (日産自動車(株))
- ・ワークショップ
最終プロモーションまでの全体計画



第4回 平成21年9月7日(月) 18:10~20:10

富山大学芸術文化学部 管理棟 大会議室 参加者 42 名

- ・セミナー「ウェブマーケティングとプロモーション」
講師: 石島香織氏 (株)エムアールエム・ワールドワイド)
- ・ワークショップ
プロモーション事例研究



第5回 平成21年9月28日(月) 9:00～16:30

参加者27名

- ・企業見学会(富山ライトレール、富山スガキ株)
- ・セミナー「物のデザインから経験価値のデザイン」

講師:島津勝弘氏(島津環境グラフィックス)



富山ライトレール



富山スガキ株



第6回 平成21年10月5日(月) 18:10～21:00

富山大学芸術文化学部 管理棟 大会議室 参加者41名

- ・セミナー「商品開発について」
講師:竹村 譲氏(ブランド&マーケティング・コンサルタント)
- ・ワークショップ
目指す市場と商品イメージの検討



第7回 平成21年10月28日(水) 18:10～21:00

富山大学芸術文化学部 管理棟 大会議室 参加者34名

- ・セミナー「マーケティングについて」
講師:横井秀彦氏
- ・ワークショップ
市場調査による商品アイデアのブラッシュアップ



第8回 平成21年11月16日(月) 18:10～20:30

富山大学芸術文化学部 管理棟 大会議室 参加者40名

- ・セミナー「プロモーションについて」
講師:飯尾明彦氏(株)ジャストシステム)
- ・ワークショップ
プレプロモーション



第9回 平成21年12月19日(土) 13:30～16:20

ウイング・ウイング高岡503 参加者66名

講師: 岩田浩史氏(有イクス代表取締役)

貴志雅樹氏(富山大学芸術文化学部教授)

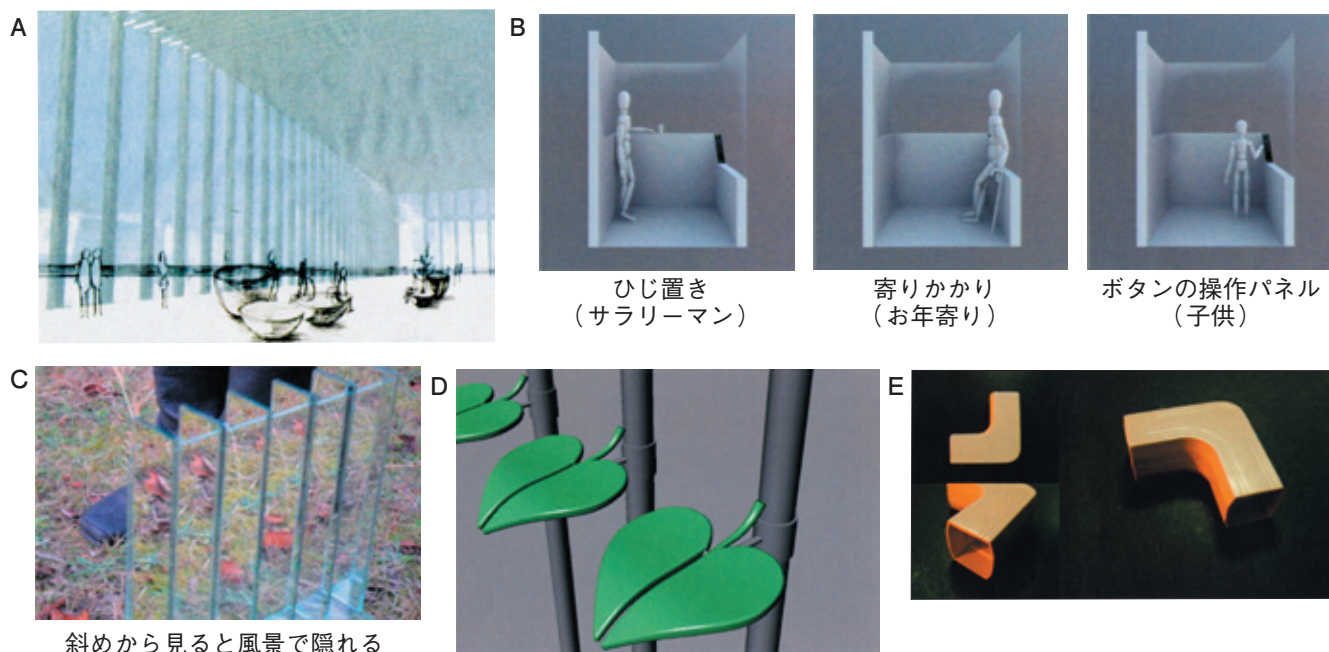
矢口忠憲氏(富山大学芸術文化学部准教授)

竹村 謙氏(ブランド&マーケティングコンサルタント)

・発表会、講評

20年度で考案した壁面レストユニットを踏まえて、高岡地域ならではの地域資源を融合的に活用した製品アイデアの具体化内容と市場調査及びプロモーション方法について5チームより発表し、講師の方々より講評をいただきました。

テーマ	プロモーション
Aチーム 楽-RAKU-「ひといき・ひととき」	高岡駅南北自由通路を全国に先駆けたモデルケースに位置づけ、実物を設置し、実体験してもらうことを最大のプロモーションとした上で、公共交通機関各社・地方自治体のどのターゲットに対して、複数のメディアが補い合いながら関係し、相互に誘導しあうような活動を進めていく。
Bチーム Re-pose	一般大衆の意識がこのエレベーターに向き、ニーズが発生することで、ビル設計者やオーナーへの購買動機へとつながる。不特定多数の人が見るTVCMという媒体を介して、従来のEVの問題点を表面化し、認識させるとともに、本商品の魅力を伝える。
Cチーム ミラーリブ	JTや地方自治体の相互利益を生むための喫煙所を提案。屋根部分に太陽光パネルを設置し、売電から得た利益を土地を提供する地方自治体へ還元し、地域緑化に貢献する。利用者からは、先進的で優れたデザインの喫煙所で喫煙できて、気分がいい。歩行者は街になじんだシンボリックなものとして満足できる。テレビCM、イベントによる広告を通しての自治体へ売り込む。
Dチーム みんなの“え木”「やどり木」	万葉線、ベンチ制作会社を中心となってイベントシンボルマーク募集、ポスター&リーフレット、ステッカーなどを作成配布、実行委員会のTシャツ・スタッフジャンパー、万葉線の1車両を広告用にラッピングして市町村や広報誌へ記事の記載、新聞やテレビとタイアップ企画、ポスターのあるお店ではエコポイント進呈、植樹は地域住民に参加してもらうことなど。
Eチーム SimiLar	デザイン性が高く、人間工学的視点も取り入れたファニチャーを展開するE株式会社主催の医療関係対象のセミナーを開催する。講師として、医療業界で知名な方を招き、講義してもらい、セミナー情報は医療雑誌に掲載する。セミナーにて、clinicシリーズの商品を展示、実際に使用してもらう。



アルミニウム合金の超精密切削加工技術 —切削メカニズムに基づくダイヤモンド工具の使い方—

富山県立大学教授 前田 幸男

アルミニウム合金を使用した超精密部品には、LBP用ポリゴンミラー、感光用ドラム、各種光学ミラーなどが挙げられる。これら部品の加工精度は、 $0.01 \mu\text{m Rz}$ オーダの表面粗さ、 $0.1 \mu\text{m}$ オーダの形状精度が要求される。超精密部品の加工には、従来の研磨加工から、ダイヤモンド工具を用いて、極めて高い運動精度の超精密加工機で鏡面仕上げする超精密切削が採られている。

しかし、超精密部品の量産加工ラインでは、加工精度が作業者の熟練度に依存したり、使用するダイヤモンド工具によりばらつくなど、生産管理に支障を来すことがある。そこで、アルミニウム合金の超精密切削に於けるダイヤモンド工具（平バイト）の使い方について紹介する。

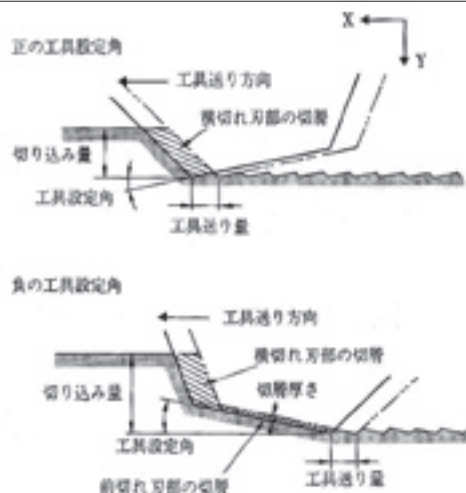


図1 平バイトの工具設定角と切屑形状

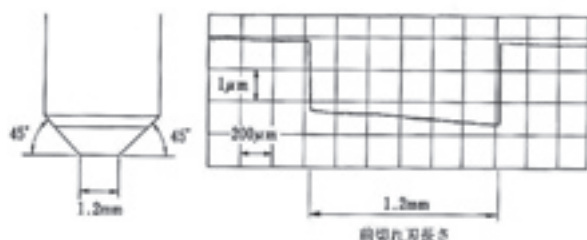


図2 平バイトの切れ刃形状

表1 切削条件

バイト	平バイト (単結晶ダイヤモンド)
工作物	Al-Mg合金
主軸回転数	24sec^{-1}
工具送り量	$50 \mu\text{m/rev}$
切り込み量	$10 \mu\text{m}$
切削液	白灯油

1. 平バイトの工具設定角と切屑形状

ダイヤモンド工具として、平バイトを用いて平面切削したときの工具設定状態の模式図を図1に示す。平バイトによる幾何学的な理論面粗さ R_{th} は、切れ刃形状（横切れ刃角 β ）と工具送り量 f 、工具設定角 θ から、次式で求められる。

$$R_{th} = f / \{ \cot \theta + \cot (\beta - \theta) \} \cdots (1)$$

この工具設定角 θ は、工具送り方向をX軸方向、切込み方向をY軸方向にとるとき、前切れ刃縁が正の傾斜を成す「正の工具設定角」、負の傾斜の「負の工具設定角」がある。正の工具設定角で切削すると、横切れ刃部のみで切り屑が生成され、その切り屑の幅は工具送り量に相当し、厚さは切込み量に相当する。これに対し、負の工具設定角では、横切れ刃部での厚い切り屑のほかに、後続の前切れ刃部で極めて薄い切り屑を生成しながら切削面を形成する。以上のように、工具設定角は幾何学的な理論面粗さだけでなく、工具設定角の傾きによる切り屑の生成状態とも関連する。

2. 工具設定角の切削面粗さへの影響

図2に示す平バイトと表1の切削条件を用い、工具設定角 θ を $-0.2^\circ \sim 0.2^\circ$ の範囲で変化させ、Al-Mg合金を切削した時の切削面粗さを図3に示す。また、平バイトとして、切削初期の鋭利バイト（累積切削距離0.1km）および工具摩耗時の摩耗バイト（累積切削距離30km）を使用し

た。図3において、実際に得られる切削面粗さと理論面粗さとの対比から以下のことが言える。

2.1 鋭利バイトによる切削面粗さ

工具設定角が $-0.1^{\circ} < \theta \leq -0.008^{\circ}$ では、理論面粗さと切削面粗さはほぼ同じである。これに対し、 $\theta \leq -0.1^{\circ}$ ではフィードマークの稜線部にバリが発生する。また、 $\theta > -0.008^{\circ}$ ではむしろ痕が切削面に残るため、理論面粗さより悪くなる。この切削メカニズムを図4に示す。鋭利バイトによる切削において、 $\theta \leq -0.008^{\circ}$ の負の工具設定角では横切れ刃部で発生するむしろ痕を後続の前切れ刃部で微小切込み切削し、良好な切削面粗さが得られると言える。これに対し、 $\theta > -0.008^{\circ}$ の負の工具設定角および正の工具設定角では、後続の前切れ刃が切削に関与しなくなり、むしろ痕が仕上げ面に残り、切削面粗さが悪いと言える。

2.2 摩耗バイトによる切削面粗さ

工具設定角が $-0.1^{\circ} < \theta < 0.2^{\circ}$ の範囲で切削面粗さと理論面粗さはほぼ同じである。一方、 $\theta \leq -0.1^{\circ}$ では鋭利バイトと同様にバリが発生し理論面粗さより悪くなる。この切削メカニズムを図5に示す。平バイトのリーディングエッジ部の摩耗部で約 $0.1 \mu\text{m}$ の削り残しがあり、これを後続の前切れ刃で切削するため、切削面粗さが良好になる。

3. 切削継続に伴う切削面粗さの推移

以上の正と負の工具設定角における切削継続に伴う切削面粗さの推移を図6に示す。切削継続に伴い切削面粗さが悪化する原因は、負の工具設定角では切れ刃量のチップング発生であり、正の工具設定角では境界摩耗と言える。

4. おわりに

ダイヤモンド工具を用いてアルミニウム合金を超精密切削するとき、平バイトの使い方として以下のことに留意する必要がある。切削初期において負の工具設定角 -0.008° を採用し、切削継続に伴って平バイトが摩耗した時(いわゆる馴らし切削後)正の工具設定角に移行させ、工具摩耗部の微小切削作用により切削面粗さは向上し、切削面粗さ $0.05 \mu\text{mRz}$ 以下を切削初期から安定して得ることができる。

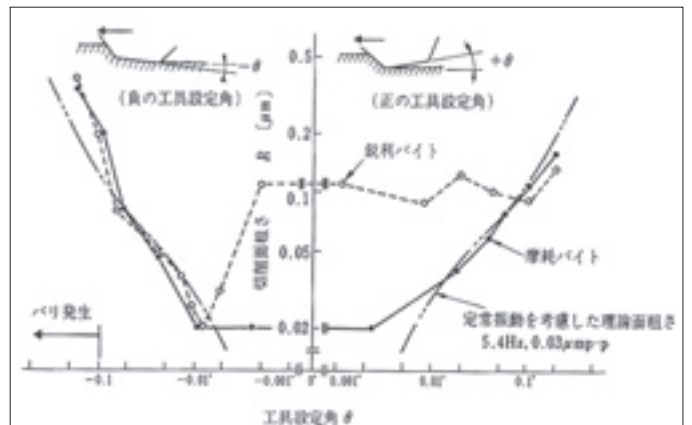


図3 工具設定角の切削面粗さへの影響

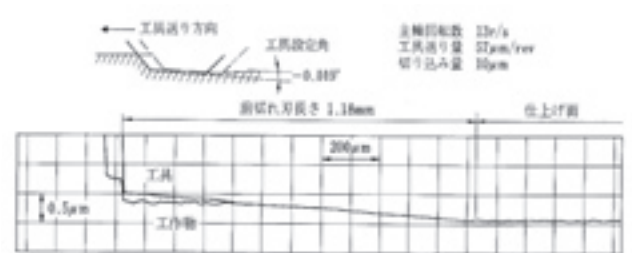


図4 鋭利バイトによる切削面形成状態

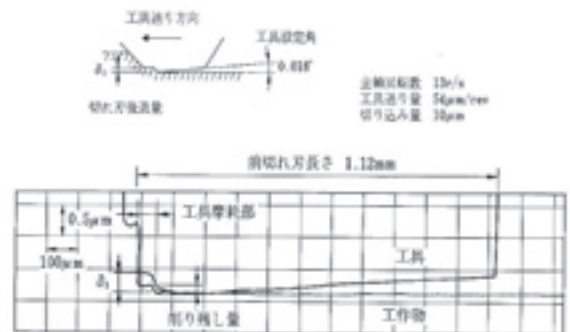


図5 摩耗バイトによる切削面形成状態

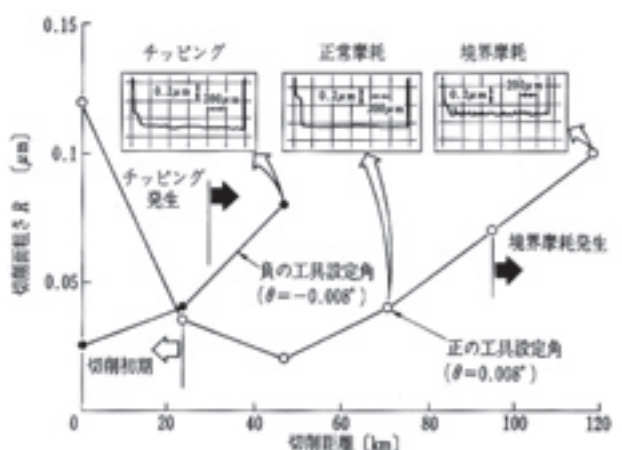
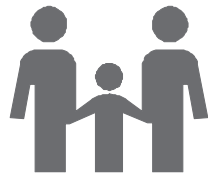


図6 切削継続に伴う切削面粗さの推移

男女共同参画に向けて

－第2回－



「子育て」

高岡市男女平等推進センター所長 野村 乙美

子は親の鏡

「子育て」は、親にとってはもちろん、社会にとっても、とても大切なことだと誰もが思っているのに、どうして「子育ては、女性がする」という意識が強いのでしょうか。

子どもは、家族の絆や、子どもに関わっている人達の感情や気持ちを吸収して育ちます。そんな事を著しているドロシー・ロー・ノルト博士の「子は親の鏡」を紹介します。

子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

Children Learn What They Live (石井 千春 訳)

子育ては女性だけのものなのか

現在でも子育ては、女性の役割(女性のほうが向いている)という意識が残っています。それは、妊娠、出産、そして子育てまでがつながっているイメージからでしょうか。そのような大仕事を担う女性に職場での継続的な労働力が望めないという拡大解釈からでしょうか。そんなことから、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識のもと、社会形成がなされてきたのでしょうか。

これまで女性の置かれている労働環境は、仕事の場での自己実現がしにくく、補助的な労働が主でした。ところが、少子化や、人口減少といった社会状況の変化で、女性の労働力の重要性が問われるようになってきました。

平成17年度「国勢調査」によれば、女性の就業率50.8%、全国5位。共働き率56.8%、全国3位と富山の女性は実に働き者です。その結果だと思いますが、平成19年度総務省「家計調査」では、勤労者世帯1ヶ月の実収入も消費

支出もなんと全国1位であり、経済的に恵まれています。人口千人あたりの出生数は、平成19年度厚生労働省「人口動態総計」によると8人（19年度）、全国38位と低いのです。ちなみに1位は、沖縄県で12.1人です。

子どもを産み、育てながら仕事を続けるということは、未だに困難がある環境なのです。こうしたことが更に、少子化を加速化させている事を踏まえ、家族も、企業も、自治体ももっと積極的に環境整備をすべきでしょう。

さらに、私自身の体験から見えたことの1つに、男性の優位感があります。職場で知らず知らずのうちに「男性の前では、1歩引いて」「男性は立てなければならない」と、けっこうバリバリ活躍している女性の中にも、垣間見ることが多いのです。

私が、支社の代表取締役であった頃のこと、「女性じゃ話しがわからん。責任者を出せ。」と、お客様の苦情の応接に出て言われたことがあります。当時は「女だから、責任のある立場であるはずがない」といった男性の意識の背景にある優位性が感じられたものです。また、家庭にあっては、妻として、夫に家事を手伝って欲しいと願っているが、母親としては、息子には「男の子らしく」と手伝いもさせずに育てるといった、動かし難い矛盾も見えました。

働き方を考えてみよう

少子化は、女性だけの問題ではありません。「子どもは、社会が育てる」というスウェーデンの政策は、家族全員で自分達の子どもは責任を持って育てるという根本的なマインドがあって初めて、不足部分を補う支援策が存在します。

日本でも、このように家族みんなで子どもを育てるためには、男性の働き方を変えないと、難しいと思いませんか。特に、子育て期の男性の働き方が変わらない限り、難しいのです。働く女性の子育てと仕事の両立には、保育サービスや、休暇制度など社会的支援が必要ですし、家族の支援も必要です。働き方を変えることは、男性のゆとり時間を作りますが、女性もゆとり時間をもてるようになります。社内に、子育て中の男性がいて、あなたが経営者であれば、経営戦略としてこんなこともちょっと考えて欲しいですね。

1つ目は、30代男性の仕事漬けのような生活から抜け出せないでいる実態を把握します。

2つ目は、職場で子育て中の労働時間について話し合う時間を作ります。

3つ目は、就業者の男女とも、子育て期の30代の残業時間廃止や年次有給休暇の取得の促進、フレックスタイム制の普及促進など、就業条件の整備改善を図ることが大切です。

企業として、地域経済の厳しい状況下である今こそ、積極的に取り組むチャンスです。是非、行動計画などの策定に向かっていただきたいと思います。そうすることが、少子化対策の重要な鍵になることでしょう。勿論、仕事の成果も高まる、ひいては、優秀な人材の流出を防ぐことにもつながると確信しています。

子育て参加を

「子育て」には父親は当然、家族である祖父母も働く母親とともに、楽しく子どもと関わりたい。それは、難しい事ではありません。「寂しい思いをしていないか」「甘えたいのに我慢をしていないだろうか」などと子どもを思いやる心を行動にすればいいのです。例えば、保育園に迎えに行った時、子供を抱きしめたり、帰宅後のわずか10分間でも「楽しかったこと」を聞いてあげたりなど、丁寧に向き合う時間が持てればよいと思います。

お父さんやおじいさんも、「野球なら」「星座の事なら」と自分の得意分野を活かして、深く関わることで信頼関係を作ります。この機会に子どもとの関わり方を見直してみたいかがでしょう。子育ての健全さとは、子供に接する時間の長さ、すなわち「量」より、接する密度の濃さ「質」だと信じるからです。

家庭は、時間や経験を共存し共感する場です。力をあわせて、子育てを楽しみたいものです。「子は親の鏡」です。子育てに関わることで自分のことも見えてくるかもしれません。より人間らしく豊かに生きられる、子どもも、親も、周りの大人も、みんなハッピーになる。新たな子育てのライフスタイルで、社会を築こうではありませんか。

のむら・おとみ

昭和40～60年 カネボウ化粧品富山販売株式会社で人材育成にキャリアを磨く。

平成元年 同社の女性初の代表取締役支配人に就任

平成8年 カネボウ株式会社、カネボウ化粧品東京本社に単身赴任。

以後、教育部長、副本部長、執行役員を歴任。平成15年退任。

平成16年 高岡市男女平等推進センター初代所長に就任。



最近の金融経済動向



日本銀行金沢支店長 味岡 桂三 氏

本稿は2月例会を抄録したものである。(H22.2.26(金) 於高岡商工ビル)

IMF世界経済見通し

IMF(国際通貨基金)発表の各国・地域の経済成長率を見ると、2009年は日本も含め多くの国・地域でマイナスとなっている。これは、2008年秋に起こったリーマンショックを契機に、世界同時不況が起こったからである。しかも、日本のマイナスが結構大きい。リーマンショックが起こった2008年秋当時は、アメリカ経済は結構ダメージを受けるだろうが、日本経済はそうでもないのではないかという見方が多かった。日本の金融市場はアメリカに比べて大きなダメージはなかったが、その一方で世界経済が一斉に冷え込む中、日本からの輸出が急減し、実体経済は大きなダメージを受けた。業種を問わず、ほぼ一斉に減産強化の動きが広がり、特に製造業は大幅な在庫調整を迫られた。減産をすると売り上げ、収益が減り、新たな設備投

資や人件費等についても企業は慎重な対応を取る。

さらに、家計から見た場合は、所得が減るから、消費や住宅投資に慎重になる。このように経済の歯車が逆回転を始めたというのがリーマンショック以降の日本経済の動きであり、2009年は日本のマイナスが大きかった。アメリカもユーロ圏(ヨーロッパ)もロシアもマイナスが大きかったが、そうした中でも、中国は+8.5、インドは+5.6、ASEANもプラスの経済成長をしている。

では、2010年はどうなるのか。IMFの見方によれば、世界経済全体としては、2010年については+3.9と、プラスに復帰する見通しである。ただし、国・地域別に見ると、ばらつきがあり、先進国は引き続き弱い。

一方で、中国やインドなどの新興国は、プラスがさらに伸びる見通しになっている。従って、2010年の世界経済全体の成長に占める割合は、7割が新興国、3割が先進国という構図になり、新興国が先進国に比べて元気がいいようだ。

IMF世界経済見通し

(前年比、%)

	2008年	2009年	2010年	2011年
日本	▲1.2	▲5.3	1.7 (0.0)	2.2 (▲0.2)
米国	0.4	▲2.5	2.7 (1.2)	2.4 (▲0.4)
ユーロ圏 ²⁾	0.6	▲3.9	1.0 (0.7)	1.6 (0.3)
中国	9.0	8.5	10.0 (1.0)	9.7 (0.0)
インド	7.3	5.6	7.7 (1.3)	7.8 (0.5)
ASEAN-5 ³⁾	4.7	1.3	4.7 (0.7)	5.3 (0.6)
アジアNIEs ⁴⁾	1.7	▲1.2	4.8 (1.2)	4.7 (0.0)
中東	5.3	2.2	4.5 (0.3)	4.8 (0.2)
ロシア	5.6	▲9.0	3.6 (2.1)	3.4 (0.4)
ブラジル	5.1	▲0.4	4.7 (1.2)	3.7 (0.2)
世界計	3.0	▲0.8	3.9 (0.8)	4.3 (0.1)

1:2010年1月26日時点の見通し。()内は2009年10月1日対比の修正率(%ポイント)。

2:ユーロ圏とは、アイルランド、イタリア、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、スペイン、スロバキア、スロベニア、ドイツ、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、ルクセンブルクの16カ国。

3:ASEAN-5とは、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム。

4:アジアNIEsとは、韓国・台湾・香港・シンガポール。

日本の景気の動き

次に、内閣府発表の景気動向指数を見ると、過去30年くらい日本経済は山あり谷ありで、景気循環を繰り返してきた。最近では、2002年以降、日本の景気は緩やかに回復しており、その後、リーマンショックの影響を受けて、崖から落ちるような急速な景気悪化が起こった。ただ一方で、全体として少し景気が持ち直し始めており、去年の春くらいから、景気の歯車がまた前に回転し始めた感も伺える。輸出が回復し始めたことで、中国、インド等の新興国と貿易取引をしている業種、企

業については、新興国の成長の果実を得るという形で輸出が戻し始めている。ちなみに今、輸出が増え始めている業種は、薄型テレビや携帯電話の部品等を製造している電子部品関係が中心である。

公共投資

公共投資は徐々に減ってきている。ただし、2008年～2009年にかけては、少し持ち直してきた。この背景は、本予算や補正予算、今年度の前倒しの発注などの予算執行があったためである。ただし、新年度予算については公共事業の割合がこれまでに比べて減っている。もちろん予算の組み替えによる新しい経済効果はあるが、公共投資については頭打ちし、減少していくことが見込まれる。

なお、北陸地方は、しばらくは北陸新幹線関連の発注が続きそうな感じなので、それがあ程度は下支えすることがあるかもしれない。

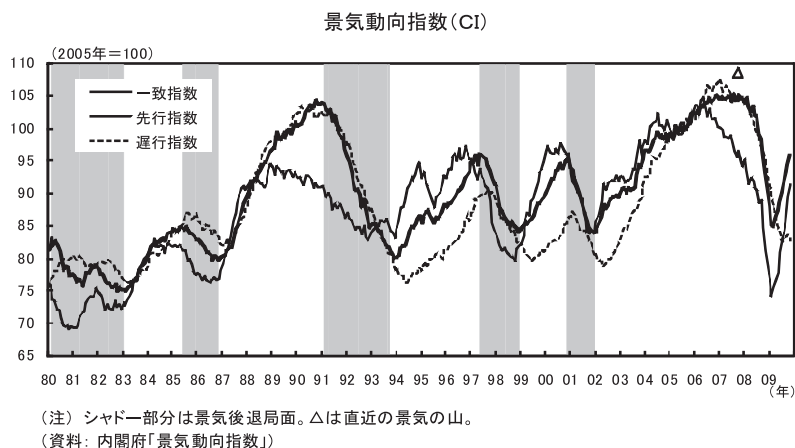
設備投資

景気を見る一番のバロメーターは設備投資のデータである。とりわけ機械受注は設備投資の先行指標と言われているが、2008年～2009年は非常に落ち込んでいた。2007年までの長い景気拡大局面で、企業は積極的に設備投資をした後、リーマンショックによる需要の急減があり、設備過剰感を持っている企業、経済の先行きに対する慎重な見方をする企業が多かったからだと思われる。ただ、機械受注も少し下げ止まりの局面になってきており、これまで以上に目を凝らして見ていく必要があるかもしれない。

住宅投資

新設住宅着工戸数は、厳しい状況が続いてきた。2007年の建築基準法改正の影響を除いても、このところ新設住宅着工戸数は非常に低い水準で、年間で80万戸を切るとも言われていた。現在の住宅ローン金利は歴史的に見ても極めて低い水準にあるが、雇用所得情勢が厳しく、所得

日本の景気の動き



の先行きの見通しが不透明な中で、新しく住宅を建てようという方は非常に少なかった。ただし、少し下げ止まってきたような感もある。住宅についても景気対策でエコポイントの対策がとられたこともあり、今後少し戻してくるのかどうかをよく見ていく必要があると思う。

輸入物価と国際商品市況

リーマンショックの直前まで、輸入物価、国際商品市況は非常に上がっていた。これは世界経済が非常に良かったということと、特に原油が非常に値上がりしたということで、当時ガソリンが非常に高くなった時期があった。それが2008年秋以降の世界景気の急速な悪化により、国際商品価格が下がり、輸入物価も下がった。

アルミの原材料の調達コストという意味では、じわじわと上がってきているのではないかという感じもするが、このあたりは為替の円ドル相場や、円ユーロ相場にもよるので、実際のところはもう少しき細かく見ていく必要があるかもしれない。

消費者物価

全国の消費者物価(生鮮食品を除く)は、2008年には前年比で+2～2.5%上がっていた。その後、大きくマイナスに向かっていった。

しかし、最近は前年比のマイナス幅が縮小している。一番新しいデータでは、-1%強という状況にあり、仮に消費者物価が継続的に前年割れをしていることをデフレと定

義すれば、今はデフレ状態にあると言えるのかもしれない。

ただ、輸入物価、国際商品市況、企業から見た仕入価格等、仕入調達のコストは、このところじわじわと上がってきている。企業経営から見ると、仕入価格と販売価格の差という意味で、厳しい状況が続いているという見方ができるだろう。

金融緩和の強化について ～中長期的な物価安定の理解の明確化～

昨年12月1日、日銀は金融緩和の強化に踏み切った。日本銀行の政策金利は今0.1%と、実質ゼロに近く、世界で一番低い金利である。日本銀行から金融市場に金融機関を通じてお金を供給する場合の基準となる金利の期間は、オーバーナイトである。名前のとおり、今日資金を供給して明日返済する金利である。このオーバーナイトの金利を軸として政策運営しているが、昨年12月1日以降は、少し長めの3カ月ものや6カ月ものについても、金利を低い状況に誘導していく措置を取り、政策金利の0.1%で3カ月もののお金をどんどん供給している。供給額は10兆円程度に向けてやっている。

今、日本の円の金利は世界で一番低い。企業経営者の方にとって金利は低いに越したことはないが、預金者の立場になると厳しい声が聞かれることも事実である。しかし、日本銀行としては、日本経済をデフレから脱却させるべく、金融市場の安定、金利の低下を促すことで、少し持ち直し始めた今の日本経済の動きを、より回復の道に進ませるといふ政策措置を取っている。

キーワードは、三つの「新」

私は今年の北陸経済のキーワードは三つの「新」と考えている。

最初の「新」は「新興国」。今年の世界経済の成長に占める新興国のウエートが約7割で、先進国は3割の見通しである。従って、北陸経済にとって、元気がいいアジア新興国の成長をいかに取り込むかが重要になってくる。

二つ目の「新」は「新ビジネス」である。今、業種を問わず、既存ビジネスの成長はだんだん難しくなっている。その中で、企業としては新たな需要開拓に向けていかに新し

いビジネスを展開していくかが重要である。北陸の企業でもエコ、低炭素、エネルギーなどをキーワードとする環境産業、あるいは安全・安心な医療や製薬、さらに繊維、電池、建材関係などでは新素材の活用に向けたチャレンジも始まっている。

三つ目の「新」は「新幹線」で、北陸新幹線の金沢開業が2014年度末に迫ってきた。いかに新幹線整備に伴う経済効果を高めていくかという取り組みを一生懸命しなければいけない。

住んでよし、訪れてよし

博報堂の生活総合研究所が、昨年9月にインターネットで、自分の住んでいる地域に対する満足度を調べたデータがある。その総合順位を見ると、地域満足度の全国トップは北陸である。満足度が、1～2位なのは、「温和でやさしい雰囲気」「治安の良さ」「街の静かさ」「自然の豊かさ」「水・空気のおいしさ」「家族や友人との交流のしやすさ」「住居費の安さ」「近隣住民との交流のしやすさ」「伝統的・文化的な雰囲気」となる。私も北陸で暮らしてみて、納得できる結果である。観光振興のキーワードは、「住んでよし、訪れてよし」といわれる。高岡や富山県の素晴らしさを内外に情報発信していくことを、大いに期待したい。

あじおか・けいぞう

昭和32年4月25日生まれ

大阪大学法学部卒

昭和56年 4月 日本銀行入行

平成 6年 5月 人事局調査役

平成 8年 3月 企画局調査役

平成10年 4月 政策委員会室調査役

平成11年 7月 考査局考査役

平成13年 5月 名古屋支店次長

平成14年11月 発券局企画役

平成15年 8月 検査室企画役

平成16年 6月 大分支店長

平成19年 8月 金融機構局参事役

平成21年 6月 金沢支店長

—— 新春高岡経済懇談会開催 ——

1月15日(金)に高岡商工会議所と(社)高岡アルミニウム懇話会合同の新春高岡経済懇談会が開催され、約200人が出席しました。南義弘高岡商工会議所会頭が挨拶され、石井隆一富山県知事、高橋正樹高岡市長、橘慶一郎衆議院議員が祝辞を述べられました。当会の竹平栄太郎会長の発声で乾杯し、出席者は和やかに歓談されました。



南高岡商工会議所会頭



竹平会長



石井富山県知事



高橋高岡市長



橘衆議院議員



常任理事会の報告

●1月度(1/13)

平成22年度の役員変更(案)、主要事業日程(案)について審議していただきました。主要事業日程は再検討することになりました。また、地域企業立地促進事業「技術デザインプロジェクト」、富山ものづくり産学官連携拠点(仮称)について報告しました。

●臨時常任理事会(2/10)

平成22年度の事業内容について概略予算含めて審議していただきました。

委員会の活動・実績

●総務広報委員会(2/23)、技能技術委員会(2/24)、経営労務委員会(2/25)

各委員会ともに平成21年度事業状況、および平成22年度事業計画について審議していただきました。

●会員研修会 第52回 (株)高松メッキ見学会(3/9)

めっき加工技術で実績を残されている(株)高松メッキを見学させていただきました。経営姿勢、技術開発での面で大きな感銘を受けました。参加者は22名でした。

カタカナ 用語の基礎知識

ツイッター (Twitter)

Twitterとは「さえずる、ペチャクチャしゃべる、クスクス笑う」という意味の英語で、2006年8月に米国でサービスが開始され、2007年3月頃から米国内で人気が発達、2008年4月には日本語版サービスの提供が開始された。「What are you doing?(今、何をしている?)」をひたすら更新していく、とてもシンプルな Web サービスで、ユーザー登録をすると自分専用のページが作成され、そこから何をしているかを更新(発言)していく。(とても手軽に更新できる、小さなブログのようなサービスということから「ミニブログ」などと呼ばれることもある。)Twitterは単に独り言をつぶやくだけのサービスであるが、フォローという他のユーザーを友達のように登録する機能がある。他のユーザーをフォローすると、自分以外のユーザーの発言を自分のページに表示させることができ、フォローするユーザーを増やしていくことで、いろいろな人の発言が次々に流れてくるようになる。さらにこの発言に返事をすることができ、話しかけることもできる。この返事は他のユーザーから見ることができるので、そこから大勢で会話をするような形に発展していくこともある。Twitterは文化的に誰でも自由にフォローしたり、外れたりしてよいということになっているので、見知らぬ人でも比較的気軽にフォローすることができる。こうしたゆるやかなつながり、自然発生的なコミュニケーションがTwitterの魅力である。また、リアルタイム性の高さも魅力のひとつである。様々な国や地域からつぶやきが投稿されて、どこかで事件や出来事が起こると、そのニュースについてのつぶやきが一斉に投稿され、フォローのつながりから全世界へと広がっていく。実際に事件の現場からの投稿は、既存のテレビやニュースサイトよりも早く、そしてすぐに広まっていくため、新たなメディアとしても注目されている。



(株) カシイ

代表取締役社長 青木好美 氏

富山に住むようになって、早いもので約30年になります。最初にこちらへ来た当時は、とにかく方言(特に早口の場合)に悩まされたものです。大げさに言えば8割方は意味が解りませんでした。聞き取れないままに何度も「聞き返し」を繰り返すものですから、上司や先輩はさぞかし「面倒な奴が来たものだ」と思われたことでしょう。初めての単身生活に加えて、このような有様だったものですから、仕事が果たして勤まるだろうかと、緊張と不安で一杯でした。



牛岳スキー場にて(向かって右端が青木氏)

ちょうどそんな気持ちに揺れていた時期、ある先輩より牛岳スキー場に誘われたのです。私のスキーの実力など、ずっと若い頃に数回経験した程度のものだったので、正直いってあまり乗り気にはなれないままご一緒させていただきました。ですが、ぎこちない滑りを続けているうちに何かしらモヤモヤした気分が爽快になり、和んで来るのが解りました。ただ無心になって滑っている間に、気がつくと1日が過ぎていました。

それまでの雪の暮らしをあまり知らないで生きてきたものですから、「冬は嫌だ」「雪は冷たいからもっと嫌だ」と一方的に思い込んでいました。しかし、人間とは勝手なもので、スキーの楽しさを知ってからは、「冬が楽し

い」「雪が待ち遠しい」。その様になって来たのです。(残念ながら最近ではすっかりスキーから遠ざかっていますが・・・)

そして何度目かの冬を迎える頃には、苦手だった方言にもいつしか慣れておりました。

また、ゆっくりと廻りを見回すゆとりがでてくるにつれ、富山の自然環境はどこよりも最高に恵まれているなあと感じるようになりました。雄大なる立山連峰、落差日本一を誇る称名滝。自然だけではなく。国宝瑞龍寺、世界遺産の五箇山、八尾のおわら風の盆、等々。数限りない有形・無形の観光名所。これらは全国のどこにでもあるものではありません。また、食べ物も素晴らしい、水良し、魚良し、米良し、酒良し、ときています。

そして、何ととっても県人の勤勉さは驚くほどです。とにかく働き者ぞろいです。

気づいてみたら、この富山を永住の地と定め、家も建てておりました。自宅のまわりにはまだ静かな道もあり、休日には老犬を連れて散歩するのも楽しみの一つです。

言葉も通じない「旅の人」から、誇り高き「越中人」に少し近づいたように思える？この頃です。



称名滝にて



社団法人 高岡アルミニウム懇話会

〒933-0912 高岡市丸の内1番40号高岡商工ビル内605号室
TEL 0766-21-1388 FAX 0766-21-5970
E-mail alcon@alumi.or.jp
<http://www.alumi.or.jp>